

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月13日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりあるみどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	25130
政策名 (基本目標)	基地全面返還の実現をめざします	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	基地の早期返還と市民のための跡地利用の実現		渉外課
施策名	基地周辺対策の推進	課長名	小湊洋一

1 施策の概要・目的

厚木基地の米軍機の航空機騒音の解消を図るよう関係自治体と連携し、国や米軍に働きかけを行うとともに、基地周辺の生活環境の充実や基地内施設の市民開放などを求めている。

2 施策の現状

厚木基地の米軍機に係る航空機騒音については、硫黄島を含む他の代替訓練施設への全面移転の実現を国や米軍に求めている。また、基地周辺の生活環境充実のため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の改善を求めるとともに、いわゆる基地交付金について、固定資産税相当額が交付されるよう国に要請している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

0 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

0 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 121 番目です。

(4) 施策に要している人員

0 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	航空機騒音の苦情発生率 100-(本市が求めている飛行禁止 時間帯の年間苦情件数÷年間苦情 件数)	本市の要請に対す る結果を把握する	352 単位	0 50 100	20	目標年度
			0 単位		23%	達成度
指標2			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位		%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

厚木基地の航空機騒音は、市民生活に重大な影響を与えていることから、その解消に向けた取り組みを行うことは、必要不可欠である。

6 有効性…期待される効果があがっているか

継続的な要請活動により、学校の試験期間中などにおいては、近年、飛行訓練が回避されつつある。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

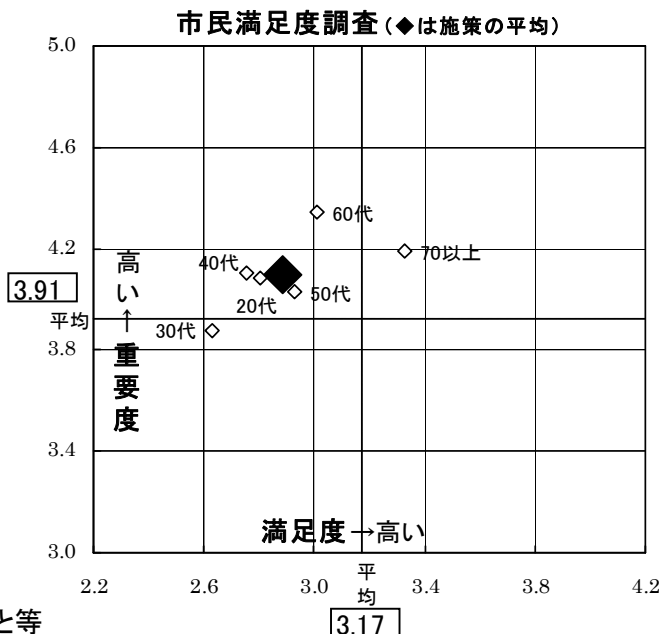
航空機騒音対策は、24時間体制で実態把握をすること及び客観的なデータをもとに、国や米軍に要請活動を継続的に進めていくことが最も効果的である。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、2.886で、調査した51施策の中で49番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.098で、調査した51施策の中で17番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.857で、調査した51施策の中で6番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は60歳代で最も高く、30歳代で最も低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

厚木基地の米軍機による航空機騒音の抜本的な対策は、厚木基地で飛行訓練を行わないことだが、それを実現するには、他の代替訓練施設が必要となる。

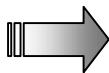
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

米軍機の航空機騒音については、他の代替訓練施設への全面移転を厚木基地関係自治体と連携し、国や米軍に求めていくとともに、当面の措置として、住宅防音工事助成区域やNHK受信料の助成対象区域の拡大について、国に強く要請していく。

11 2次評価

説明

A

B

C

基地所在自治体を受けている様々な被害に対応した制度の充実について、関係自治体と連携し、国や米軍へ強く働きかけること。

12 外部意見

説明

基地に起因する被害を受けている市民の状況を考慮し、積極的な対応を図るべきである。

